

# ネパールの留学生

特定非営利活動法人ミランクラブジャパン  
理事長 マナンダール マダーブ ナラエン

日本に来るネパール人は過去 10 年で 7 倍になった。出入国在留管理庁によると、2020 年末における在留外国人数は 2,887,116 人である。男女別で見ると男性が 1,429,471 人 (49.5%)、女性が 1,457,645 人 (50.5%) で女性の方が若干多い。国別で上位 10 ヶ国を見るとネパールは 6 位だ。

(1) 中国	778,112 人
(2) ベトナム	448,053 人
(3) 韓国	426,908 人
(4) フィリピン	279,660 人
(5) ブラジル	208,538 人
(6) ネパール	95,982 人
(7) インドネシア	66,832 人
(8) 台湾	55,872 人
(9) 米国	55,761 人
(10) タイ	53,379 人

日本にいる多くのネパール人は、日本の技術力や文化に関心が高い。その他の人は殆ど、働いて稼ぐ目的で来ている。昨今、留学目的で来る若者が急増している。現在、ネパールからの留学生は 2 万 9 千人強である。留学中は、日本の優れた製品と品質管理等を学び、将来自分の国に帰り還元したいという。

日本は、留学生として受け入れている条件は、事前に 12 年間の教育を修了し、ある程度の日本語が出来ることである。留学する学生は、母国でまず数年間日本語を学ぶ。

日本語はネパール語と全然違う言葉で、国も中国や韓国のような漢字圏の国では

ないため、ネパールで日本を勉強しても、中々マスターは出来ない。英語と違って漢字の読み書きはとても難しく、それにひらがなやカタカナも加わるので、より一層複雑に感じる。しかし一方、日本語の文法の流れはネパール語とよく似ていて、日本語の単語さえ覚えて並べて話せば、会話になることがある。ネパール人にとって日本語の勉強は楽しい。

母国で数年間学んだ日本語では日本の文化の理解も出来ず、大学や専門学校に入るのも難しい。多くのネパール人は、来日してから再度日本語の学校へ通い 1~2 年間勉強する。その後大学や専門学校に入る。留学生は 20~30 代が多い。以前は男性の留学生が多かったが、最近では女性も急増している。留学生は日本の北海道から沖縄までいる。

今は大学や専門学校を卒業し日本に残り医師、エンジニア、介護や IT 企業などで働いている人が増えている。自国の会社の給与待遇と比べ、高収入が得られる日本の企業に入り、収入の一部を国の家族へ送金するようにしている。送金することで家族の生活は助かっている。日本に留学するモチベーションの一つである。

ネパール人が日本を留学国として選ぶ他の理由は、日本の滞在資格「留学」制度の緩和だ。他国に比べて優しい。それに留学生の奨学金制度もあり、一週間 48 時間の就労を許可していること。

次の号は、他の職種で在住するネパール人について書く予定。 続く..